

満月の夜開くけいはんな哲学カフェ「ゲーテの会」 「新たな文明」の萌芽、探求を！

『皆が専門家、皆が素人』

世代を超えて、立場を超えて、分野を超えて
次代を拓く最先端の議論を、あなたと共に。

混迷を深める現代社会

けいはんな学研都市から「新たな文明」の萌芽、探求を！

量子論は、人類のものの見方を変えるほど大切なものなの？

高校等における教育課程に量子論をいかに位置付けるべきか？

Motif 「量子論」が開く世界

量子コンピューターが実装された未来社会はどのようなものなの？

持続可能社会を築く上で、量子論は、どのような貢献をするの？

科学技術の発展は、100年先どのような方向に向かうのか？

第1回けいはんな市民懇談 roundtable

モデレーター



磯部 洋明 先生
(京都市立芸術大学准教授)

量子論は様々な技術的応用のみならず、人間の世界認識に関わる哲学的な問いを投げかける魅力的な理論です。しかし市民懇談で議論するには中々難しいテーマでもあります。原子力や遺伝子編集技術など、多様な価値観を持つ市民の話し合いが大切な科学技術のテーマは多くあります。しかし現時点で量子論の技術的応用に大きな社会的対立が見られるわけではなく、その一方で科学的理解が曖昧なまま量子論の哲学的示唆だけを現実の社会問題の解決に結びつけて語ることは、下手をすると非科学的なものを科学の言葉で語る過ちに陥ります。量子論を語ることの魅力と危険。このことを「メタな視点」で話し合うことで、科学技術の高度化に伴う知のブラックボックス化といった、普遍的な問題について一緒に考えることができればと思います。

メンター



佐藤 文隆 先生
(京都大学名誉教授)



藤井 啓祐 先生
(大阪大学教授)

2022年7月23日(土) 14:00 ~ 17:00

ハイブリッド
開催
(対面・遠隔)

懇談会場

公益財団法人 国際高等研究所
〒619-0225 京都府木津川市木津川台 9-3

定員

100名
(先着順・定員になり次第締め切り)

参加費

無料

締切

2022年7月20日(水)

申込

一般参加者の方は、下記WEBページからお申し込みください。
https://www.iias.or.jp/communication/round_table

開催方法

今回の「市民懇談」は、一般参加者の方には、ZOOM Webinarシステムを利用して配信します。インターネット環境の整備が前提となります。お申込み者には、事前にZOOMの招待メールをお送りします。受付時間(13:30~14:00)内に、事前にご連絡するURLからアクセスしてください。

今回の「市民懇談」は、一般参加者の方には、ZOOM Webinarシステムを利用して配信します。懇談会場(高等研)での一般参加受付は行いません。



主催

公益財団法人 国際高等研究所
<「新たな文明」の萌芽、探求を！> プロジェクト事務局
e-mail:goethe0828@iias.or.jp

IAS 公益財団法人
国際高等研究所

オンライン(遠隔)でのご参加の方は

今回の「けいはんな市民懇談」は、一般参加者の方には、ZOOM Webinarシステムを利用して配信します。インターネット環境の整備が前提となります。お申込み者には、**事前にZOOMの招待メールをお送りします。受付時間(13:30~14:00)内に、事前にご連絡するURLからアクセスしてください。**

プログラム日程(案)

14:00~14:15	はじめに(モデレーターの挨拶・説明)
14:15~15:00	参加者話題提起(概ね一人3分程度)
15:00~16:15	参加者意見交換(メンターからの発言を含む)
16:15~16:45	参加者・メンター感想
16:45~17:00	おわりに(モデレーターのまとめ)

市民懇談会場

LIVE

オンライン参加

今回は、一般参加者は、オンライン(遠隔)での参加のみとなります。高等研での対面参加は特定参加者に限ります。

開催趣旨

量子論をテーマとして、第91回「満月の夜開くけいはんな哲学カフェ「ゲーテの会」、および第1回「けいはんなmeta鼎談(哲学×科学×技術)」を開催しました。当該の講演、鼎談において論議された内容について、その視聴者を中心に、市民と専門家、教師、次代を担う学徒など多様な人々の参加を得て、市民が主体となって学び合う場を設えることとします。この場を通じて、本テーマに関し、市民が広くリテラシーを身に付けるきっかけとなることを期待しています。

モデレーター



磯部 洋明

1977年神奈川県生まれ、主に岡山県育ち。京都大学大学院理学研究科物理学・宇宙物理学専攻博士課程修了。京都大学宇宙総合学ユニット、同大学院総合生存学館等を経て2018年から京都市立芸術大学美術学部准教授。専門は宇宙物理学で特に太陽活動とその地球への影響の研究。宇宙人類学、宇宙倫理学、古文書を用いた天文学などの学際的研究や、科学コミュニケーション活動も行っている。平成21年度文部科学大臣表彰・若手科学者賞受賞。

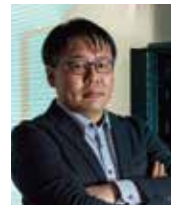
メンター



科学

佐藤 文隆

1938年生まれ。1960年京大理卒、1974-2001年京大教授、2001-2014年甲南大学教授。京大基礎物理研究所所長、理学部長、物理学会会長、学術会議会員、湯川記念財団理事長、理化学研究所相談役、京大出版会理事長などを歴任。宇宙物理学、一般相対論を研究。「宇宙物理」、「一般相対性理論」、「科学と幸福」、「職業としての科学」(岩波)、「物理学の世紀」(集英社)、「佐藤文隆先生の量子論」(ブルーバックス)、「量子力学ノート」(サイエンス社)など著書多数。



技術

藤井 啓祐

2011年3月京都大学大学院工学研究科 博士課程終了。博士(工学)。2011年4月から2013年3月まで、大阪大学大学院基礎工学研究科 特別研究員。2013年4月から2016年3月まで、京都大学白眉センター特定助教。2016年4月から2017年9月まで、東京大学光量子科学研究センター助教。2017年10月から2019年3月まで、京都大学大学院理学研究科物理学・宇宙物理学専攻、特定准教授。2019年4月から、大阪大学大学院基礎工学研究科システム創成専攻、教授。大阪大学量子情報・量子生命研究センター副センター長。

問合せ先

申込・視聴など、Peatixの利用方法についてご質問などございましたら、下記のヘルプページをご確認いただくか、お問合せ窓口にご連絡ください。

Peatix ヘルプページ <https://help-attendee.peatix.com/ja-JP/support/home> Peatix
お問合せ窓口 <https://help-attendee.peatix.com/ja-JP/support/tickets/new>